

第1号議案 2019年度活動報告、収支決算並びに監査報告

1, 第41回定期総会

第41回定期総会は、2019年3月18日(火)、東京・内幸町の日本プレスセンター内日本記者クラブ小会議室で開催。上松 寛茂会長を議長に選出、2018年度の活動報告、決算報告、2019年度の収支予算案、活動計画案を原案通り決定した。

基調講演は、田中林業代表取締役の田中惣次氏が「森林環境税・新たな森林経営管理システムに対する林業経営者としての訴え」と題して、林業家の立場からの、森林環境税と新たな森林経営管理システムに対する考え方に関する講演を行った。

この後、懇親会では、林野庁や林業関係者らを含めた歓談のひとつときを持った。

2, 研究会(41回総会以降)

「森林環境税でどう変わる森林経営と木材産業」を年間テーマに実施。

4月26日(金)「新たな森林管理システムと森林政策上の意義」

田家邦明氏(日本農業研究所理事長、元林野庁次長)

6月11日(火)「平成30年度森林・林業白書」について

吉本昌朗氏(林野庁林政部企画課課長補佐・年次報告班)

6月21日(金) <下記現地研究会のとおり>

7月21日(金)「木造都市への挑戦(仮題) — 都市(まち)に森をつくる —」

木村一義氏(一般社団法人日本木造耐火建築協会 代表理事会長、
株式会社 シェルター 代表取締役)

9月25日(水)「令和2年度林野庁予算概算要求の概要」

原嶋広之氏(林野庁林政課管理官)

1月16日(水)「森林サービス産業の成長産業化の可能性」

木下仁氏(山村振興・緑化推進室長)

3, 共同取材・現地研究会等

現地研究会:6月21日(金)

・多摩産材情報センター、羽生文右衛門、田中林業
(参加者11人)

活動出展:8月1日(木)~3日(金)

・長野市「次世代森林産業展2019」に出展

共同取材:11月7日(木):信州大学農学部

8日(金):北信州森林組合

・スマート林業に関する研究・開発・現場について
(参加者5人)

4, 会報(林政ジャーナル)の発行等

2019年8月1日付 第60号を発行した。

5, 幹事会

以下の通り3回行った。10月26日(金)11月30日(木)。ほかにインターネットのメールを活用した幹事会を数回実施した。

6, 会員の動向

2020年2月末の会員数：会員=24人、
(参考)賛助会員=19団体

7, 収支決算及び監査報告

2019年度(1~12月)の収支決算

項目		予算額	決算額	備考	
収入の部	前期繰越額		3,051,459	3,051,459	
	1 会費 個人会員	会費	154,000	119,000	7,000×17 人
		経年度未納分	49,000	14,000	7,000×2 人
		個人会費計	203,000	133,000	
	会費 会員賛助	会費	380,000	340,000	20,000×17 団体
		経年度未納分	20,000	0	
		法人会費計	400,000	340,000	
	会費収入計		638,000	473,000	
	2 雑収入		80,000	40,026	総会懇、農J祝、利息
	当期収入合計		718,000	513,026	
合計		3,734,459	3,564,485		

支出の部	1 研究会費	講師謝礼	140,000	57,000	総会、研究会
		会場費	10,000	20,293	研究会
		小計	150,000	77,293	
	2 共同取材費		40,000	208,667	
	3 会報発行費		150,000	119,630	
	4 会議費	総会費	200,000	159,959	日本記者クラブ
		幹事会費	10,000	11,234	広報官歓迎迎会
		小計	210,000	171,193	
	5 事務局費	通信費	100,000	62,418	会報発送費等
		印刷費	0	1,420	
		事務用品費	8,000	2,559	
		小計	108,000	66,397	
	6 雑費		20,000	11,852	
	7 予備費		10,000	0	
	当期支出合計		688,000	655,032	
	当期収支差額		30,000	△ 142,006	
	次期繰越額		2,946,618	2,909,453	

監査報告書

「日本林政ジャーナリストの会」の2019年度の事業報告、収支決算書を監査した結果、適正に処理されたものと認めます。

2020年3月13日

日本林政ジャーナリストの会

監事 上河 潔

